

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

L : 矢古宇 SL : 西

2. 山城／ルート

劔岳 源次郎尾根

3. 交通手段

JR バス、富山地鉄、立山黒部アルペンルート、JR 等

4. 行動記録

<入山日 2016 年 7 月 29 日 (金) 下山日 2016 年 7 月 31 日 (日)>

第 1 日

21:30 神戸出発 → (JR バス) 22:30 梅田発 → 6:45 富山着

第 2 日

7:06 富山 → 8:19 立山 8:40 → 9:45 室堂 10:00 → 11:00? 雷鳥沢 → 12:20 劔御前 → 1315 劔沢 テント泊

第 3 日

3:00 起床 → 4:20 出発 → 5:30 源次郎尾根取り付き → 支尾根分岐
→ 8:30 I 峰 9:00 → 9:50 II 峰 (懸垂下降) 10:10 →
11:30 劔岳山頂 12:00 → 別山尾根 → 15:10 劔沢小屋 15:30 劔沢テン場

第 4 日

3:00 起床 → 5:00 出発 → 5:45 劔御前 → 7:20 雷鳥沢 7:35
→ 8:20 室堂 → 9:47 立山 10:13 → 11:21 富山 帰神

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか?

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由
特になし

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか?

発生した場合、具体的に記す

・源次郎尾根取りつき付近で、矢古宇が右臉を虫に刺される。若干の腫れ。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか?

特になし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・今年雪が少なく、雪渓は例年の 9 月並とのこと。
- ・源次郎の取りつきまでは夏道を歩き、大岩手前で雪渓を渡ると聞いたが、手前から雪渓上を歩いた (アイゼン装着)。
- ・源次郎の取りつきは大岩の先なのである程度分かりやすい。

- 全体的に虫が多いが、取りつき直後が特に多かった様に思う。矢古宇はそこで、右脰を虫に刺され、若干腫れた。
- 取りつき後の、第1の核心部は残置シュリング（あぶみ状）があるが、シュリングに足を掛けると伸びる上、岩も滑りやすく、非常に登りにくい。
- 第2の核心部手前も、岩が滑りやすく、登りにくいところがあった。
- 第2の核心部は、残置シュリングが2本ある（上部のシュリングは新しい）。
先のパーティーの女性は、ロープ確保されていたが、登るのに時間が掛っていた。
最初に、西さんがザックを置いて登り、西、矢古宇のザックを引き上げ（φ6×10m お助けロープ）、最後に矢古宇が、念のため、先のロープをビレイループに掛け、登った。
残置の2本のシュリングがありがたかった。
- ハイマツをくぐったりするので、ザックのストックが引っ掛かりやすかった。
- 1峰からは、熊の岩がよく見えた（テント2張り）。長次郎谷をここまで登って来るのは、ザックの荷を考えると、かなりしんどいと思われた。
- 熊の岩からの右俣がわかりにくかった。
- 八峰はよく見え、フェースを登っていると思われる人たちのコールが聞こえた。
- 2峰からの懸垂下降地点は、支点に鎖、残置シュリングが多数あり。
スペースは広く、準備しやすい。鎖にロープを掛けた。
25m 程下降した地点でテラスがあり、残置シュリングがある。
- 剣本峰手前は、ザレで落石しやすかった。
- 今回、水は約 3L 持ったが、暑さがさほどでなかったため、1.5L 程度で済んだ。
-



源次郎尾根の取りつき



1 峰から八つ峰をバックに



熊の岩のテン場



劔岳山頂にて

報告者氏名 矢古宇靖子

2016 年 7 月 31 日